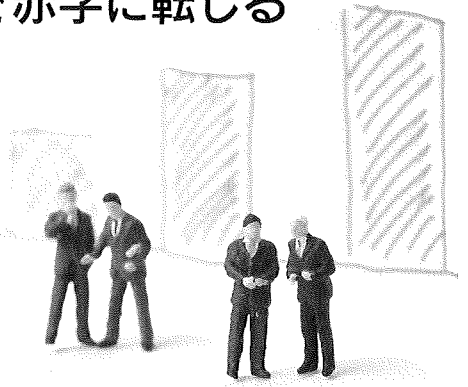


平成29年度決算報告

納付金の大幅増で赤字に転じる

平成29年度事業および収支決算報告が、7月17日(火)開催の第118回組合会において承認されました。以下に収支決算の概要をご報告します。
(本文中の決算額等は百万円未満四捨五入で表記しています)



平成29年度事業

重症化予防を重点的に実施

平成29年度は、健保組合独自の事業を進める「データヘルス計画の第1期最終年」でした。「重症化予防」を掲げていた当組合では、受検率の向上と併せて、健診結果に応じた受診勧奨を積極的に行いました。また、加入事業所の健康増進への取り組みの支援を行い、データヘルス計画の目的のひとつであるコラボヘルスの礎を築きました。

平成29年度収入支出決算

健康保険(一般勘定)

○収入総額	179億9900万円
○支出総額	177億8000万円
○収支差引額(決算残金)	2億1900万円
*予算総額	183億1800万円

収入 保険料増収ながら財源確保に至らず

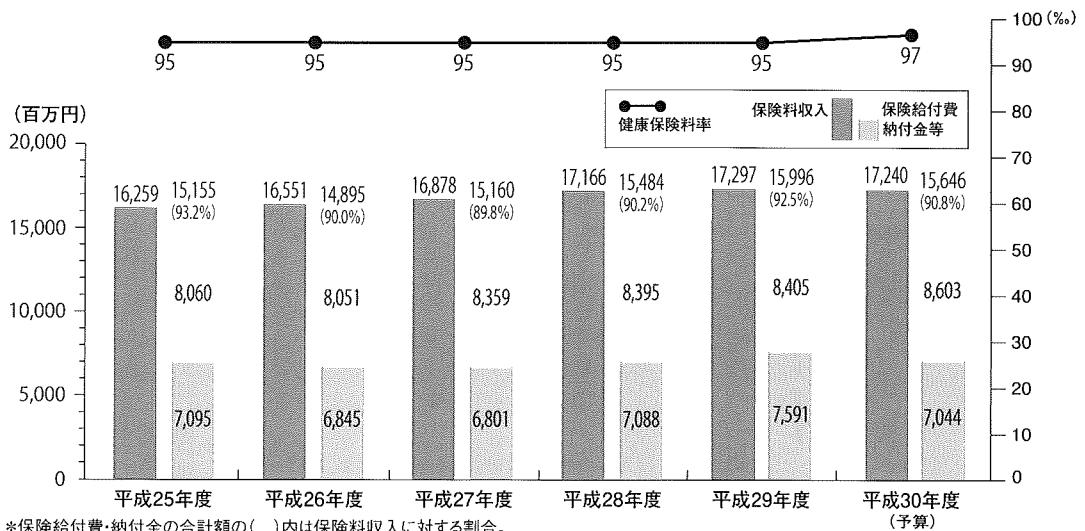
平成29年度は、被保険者数が前年度決算比105名増の3万2335名、標準報酬月額が同比826円増の37万9000円と順調に推移しました。平成24年度以降95%で維持している健康保険料率で納めていただいた保険料は172億9700万円、被保険者数等がわずかながらも好転していることから同比1億3100万円の増額となりました。

納付金の大幅増などにより、保険料等の経常収入では財源不足となりましたが、別途積立金からの繰入金などで収支のバランスをとりました。

支出 止まらない納付金の負担増

高齢者の医療のために拠出する納付金は、平成20年度に導入されて以降10年経過した今も負担増が止まりません。平成29年度決算では前年度決算比5億300万円もの大幅増になる75億9100万円となりました。また、主に医療費の給付である保険給付費は前年度決算と同水準の84億500万円でした。

図 保険料収入・保険給付費・納付金等の推移



*保険給付費・納付金の合計額の()内は保険料収入に対する割合。

これらの支出科目の合計は177億8000万円、同比4億8700万円の増額となっています。